

(別添資料)

審議の内容 (以下抜粋)

会 長 それでは、議事を進めていきたいと思いますが、協議事項のまち・ひと・しごとの創生総合戦略に係る諮問として、佐伯市シミュレーション案について協議を行います。事務局のほうから説明をお願いします。

(事務局説明)

会 長 今の説明について、わかりづらいという部分は補足して説明もいたしますが、何かご質問があれば、承ります。

委 員 国の方針としては、資料にあるような施策を立てていく。だから各市町村においても施策を立てろということと考える。

委 員 私たちはどうしても米水津のことが気になる。米水津はどのくらいの予測になるんですか。

事務局 人口に関する資料の5ページ目に市の全体が3万4,000人になる。米水津では、平成72年には869人になるという数字が出ている。

会 長 何かご質問はないですか。そういうことで、この人口シミュレーションの案については、ご承認をいただけるということで、よろしいでしょうか。

(「はい」という声多数)

会 長 ありがとうございます。続きまして、佐伯市のまち・ひと・しごと創生総合戦略のたたき台について、事務局からの説明を求めます。

(事務局説明)

会 長 はい、ありがとうございます。基本目標が4項目に分かれております。ご意見ありましたら承ります。

委 員 この基本目標のところに出産と子育ての目標をかなえる。これが一番重要なことだと思う。子どもが生まれなければ、人口減少につながることは間違いじゃないし、若い人たちを外に出さないためには、どうかするっていうのが、必要なことである。

委 員 どれもお金の出し方が少ない。若者が地域に残るっていうことは、就労保障が、1番だと思う。就労保障、就労保障といっても、それを具現化することが大事。言っているだけで就労できなくなり、ふるさとをあとにする人も多い。それと、妊娠・出産・子育て支援のサービスとか、やっぱりお金をもっと出さないといけない。保育所とか幼稚園とか学校の授業料免除とかそういうことを積極的にやって佐伯市は、こういうところがものすごく保障されているから米水津で子育てしよう米水津に帰ってこようというアピールとかしていくことが必要で、こういう目的、シミュレーションをしても米水津をあとにすると思う。また、退職したあとの再就職、最雇用っていうのを考えていかないと思っている。そうしたときに米水津は、1次

産業、2次産業をもっと充実させる必要があると思う。若者が、米水津で生活していただくために、就労保障をまずすることが必要だと思う。

会 長 はい、ありがとうございます。

委 員 米水津として当てはまる施策とか当てはまらない施策とか不足しているところもある。

委 員 高齢化社会、高齢者社会と否定的にとらえているっていうことに問題があるんじゃないかなと思う。やはり、楽しく明るく、生きていくっていうのが、大事だと思う。米水津がこれから、水産加工業や、漁業とか農業とかそういうものを中心に、第1次産業とか、第2次産業からツーリズムにつなげていくとか連携していくことが、大事じゃないかなと思う。

委 員 元気で暮らせるところが1番最高だと思います。そういうところに若者も集まってくるだろう。

委 員 施策つくったら予算額も示してほしい。

会 長 議論もつきないと思いますが、いかがでしょう。皆さんご理解いただいて、ご承認をいただくということで、よろしいでしょうか。

（「はい」という声多数）

会 長 ありがとうございます。では、以上でよろしいですか。

なければ、以上で第1回の米水津地域振興審議会を終了したいと思います。どうもご苦労さまでした。